

NDR ハンブルク北ドイツ放送交響楽団 Sinfonieorchester



指揮：
トーマス・ヘンゲルブロック
Thomas Hengelbrock, conductor

モーツァルト：
オペラ「フィガロの結婚」序曲
Mozart: "Le nozze di Figaro" Overture

メンデルスゾーン：
ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 op.64
Mendelssohn: Violin Concerto in E minor op.64

ヴァイオリン：クリスティアン・テツラフ
Christian Tetzlaff, Violin



ブラームス：
交響曲第1番 ハ短調 op.68
Brahms: Symphony No.1 in C minor op.68



ヴァイオリン：
クリスティアン・テツラフ
Christian Tetzlaff, Violin

料金：S¥21,000 A¥17,000 B¥14,000 C¥10,000 D¥6,000 プラチナ券¥26,000

60
Anniv.



作品のイメージを塗り替える驚異の才気——トーマス・ヘンゲルブロック讃

「名演」の定義は、人によってさまざまだろう。筆者にとつての「名演」のひとつの形は、作品のイメージを根底からくつがえしてくれる演奏だ。それも奇をてらうやり方ではなく、心の底まで納得させてくれる方法で。

トーマス・ヘンゲルブロックは、そのような「名演」を体験させてくれる、まれな指揮者である。

最初に彼の演奏に驚倒したのは、手兵のバルタザール・ノイマン合唱団&アンサンブルを率いた、ケーテンのバッハ・フェスティバルでのこと。ピリオド奏法とそれに適った発声によるアンサンブルが一般的になつてずいぶん経つが、あそこまで「目からうろこ」の体験ができたのは初めてだった。まるでひとりの「声」によるようなモテットも、バッハの親しんだバロック・オルガンの響きを思い起こさせるカンタータも、驚かされると同時に深く頷かされてしまったのである。

以来、「目からうろこ」の驚愕を、何度味わったことだろう。ベッリーニのオーケストレーションの天才を教えてくれた、バルトリと共演した《ノルマ》。「総合芸術」の極みを

堪能させてくれた、ピナ＝パウシュの振り付けによる《オルフェオとエウリディーチェ》。その背景には、《ノルマ》の演奏にあたって、ベッリーニの自筆譜に基づいてわざわざ演奏用の楽譜を作成したことに見られるような、真摯で徹底的なこだわりがある。一方で演奏者としてのヘンゲルブロックの鋭い勘は、音楽の持つ生命力をあざやかに喚起するのだ。研究と実践の相互作用が彼ほど魅力的に結実している例を、筆者は知らない。

そのヘンゲルブロックがハンブルク北ドイツ放送交響楽団の首席指揮者に就任し、このコンビで待望の初来日を果たす。残念ながらコンビでの実演は未聴だが、CDで発売されたメンデルスゾーンとシューマンを聴く限り、躍動感あふれるヘンゲル節が炸裂していて、初めから終わりまで引きこまれてしまった。汚れを払われて劇的な色彩をよみがえらせたミケランジェロの傑作のように、作品の核心を鮮やかに見せてくれるヘンゲルブロックの希有な才能は、名門オーケストラに新しい歴史をもたらしてくれるに違いない。

加藤 浩子(音楽評論家)

ハンブルク北ドイツ放送交響楽団 NDR Sinfonieorchester



1945年創設。フルトヴェングラー、クナッパースツッシュ、クレンペラー、ベームら錚々たる指揮者が客演し、シュミット＝イッセルシュテット、テンシュテット、ヴァント、ガーディナー、ブロムシュテット、エッセンバッハ、ドホナーニらが歴代の首席指揮者である。2011/12年シーズンからその任はトーマス・ヘンゲルブロックに引き継がれた。北ドイツ地域のほか、ヨーロッパ一円の主要音楽祭に定期的に招かれ、海外ツアーも数多い。世界の主要コンサートホールでの舞台にするドイツを代表する名門オーケストラである。ヘンゲルブロック指揮によるメンデルスゾーン&シューマンの交響曲集CDがソニーから発売。

トーマス・ヘンゲルブロック(首席指揮者) Thomas Hengelbrock, Chefdirigent



ドイツ生まれ。アーノンクール率いるウィーン・コンツェントゥス・ムジクスのヴァイオリニストとして活躍した後、バルタザール・ノイマン・アンサンブル&合唱団を設立。1985年にはフライブルク・バロック管を設立、95～98年はドイツ・カンマーフィルの芸術監督を、2000～03年にはウィーン・フォルクスオーパーの音楽監督を務めた。バイエルン放送響、ミュンヘン・フィル、ヨーロッパ室内管、パリ・オペラ座、英ロイヤル・オペラにも客演し、2011年夏にはワーグナー《タンホイザー》を指揮してバイロイト音楽祭にデビューした注目の存在。

クリスティアン・テツラフ(ヴァイオリン) Christian Tetzlaff, Violin



ドイツを代表する、現代最高のヴァイオリニストの一人。ベルリン・フィル、シカゴ響など常に最高のオーケストラの常連ソリストとして招かれ、カーネギーホールやザルツブルク音楽祭にも最重要アーティストとして名を連ねる。2010/11年シーズンはベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲クルスや、テツラフ弦楽四重奏団によるアメリカ・ツアー、ハーディング指揮ロンドン響やノット指揮ベルリン・ドイツ響との共演をしている。数多いCDはグラミー賞やエコー賞を受賞、最近のリリースにはシマノフスキのヴァイオリン協奏曲(ブーレーズ指揮ウィーン・フィル)やシューマン&メンデルスゾーンのヴァイオリン協奏曲(P.ヤルヴィ指揮h r響)などがある。

新たな時代の予感——我々はいくつかのことを変える時がきたのです

ロルフ・ベック(北ドイツ放送・音楽部門代表)

ヘンゲルブロックはハンブルク北ドイツ放送響(NDR)の音を、伝統を残しつつ、変えていっています。それはとても面白い!NDRはそもそもアーノンクールやガーディナーらと共演してきましたから、ピリオド(古)楽器系の指揮者は初めてではありません、我々はいくつかのことを変える時がきたのです。

私はよくアーノンクールがコンサートホウ管とブルックナー・チクルスを始めた時のことを思い出しますが、その時の彼らと今のNDRは似たポリシーを持っています。

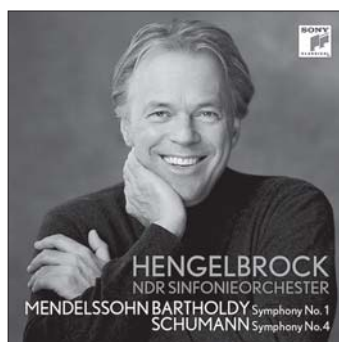
この数週間のヘンゲルブロックとの共同作業は、私にとってもオーケストラのメンバーにとってもHappyな出来事で、彼らがこんなにHappyになったのを見たことがありません。(談)

THOMAS HENGELBROCK & NDR SINFONIEORCHESTER

「15歳のメンデルスゾーンは、(交響曲第1番で)遙か先のベリオーズにまでつながる、素晴らしく豊かな音色を生み出しています。シューマンは(交響曲第4番の初稿で)“音楽に詩を注ぎ込む”ために、新しいハーモニーと新しい形式を見つけたのです。——トーマス・ヘンゲルブロック [ライナーノーツより]

SONY
CLASSICAL
Sony Music Japan
International Inc.

最初の音から、ドラマティックに変貌した北ドイツ放送響のサウンドが耳に飛び込む。ドイツ指揮界の類稀な鬼才、ロマン派シンフォニーでその才能のスペクトラムを開示。



トーマス・ヘンゲルブロック

シューマン:交響曲第4番[初稿]&メンデルスゾーン:交響曲第1番

- | | |
|----------|--|
| メンデルスゾーン | 1 交響曲第1番ハ短調作品11 |
| | 2 八重奏曲変奏長調作品20〜スケルツォ[オーケストラ版:メンデルスゾーン] |
| シューマン | 3 交響曲第4番二短調作品120[1841年初稿] |

トーマス・ヘンゲルブロック指揮 北ドイツ放送交響楽団
[録音]2011年3月10～12日 リューベック、ムジーク・ウント・コングレス・ハレ(シューマン:ライブ・レコーディング)

トーマス・ヘンゲルブロックと北ドイツ放送響の録音プロジェクトの第1弾となるのが、ドイツ・ロマン派のシューマンとメンデルスゾーンの交響曲2曲を取った2011年3月収録の当アルバム。可能な限り自筆譜や同時代の情報を精査・研究したヘンゲルブロックの指揮のもと、本管は軽快で豊かな色彩感を帯び、対向配置の弦楽パートは生き生きとしたアーティキュレーションが施され、立体感と透明感のあるオーケストラの響きが立ち上ります。重厚な名門北ドイツ放送響が全く新しいスーパー・オーケストラに変貌しているさまはまさに驚愕の一言です。メンデルスゾーンでは、その若々しい筆致と躍動感あふれる曲調がものの見事に音化され、シューマンでは、作曲家の最初の靈感を刻み込んだ初稿版で演奏し、作品にあふれる幻想的で暗いロマンティズムをドラマティックに音化しています。

1.25 IN STORES
CD: SICC 1503 ¥2,520(税込)

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※音声自動応答で承りますが、オペレーター(10:00～18:00)もご選択いただけます。ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

カジモト・イープラス 検索 <http://kajimotoeplus.com/>

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 157-056)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 03-3584-9999

twitter @kajimoto_News

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。
iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応
チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売: 1/21(土)10:00～

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 1/11(水)12:00～1/15(日)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00～18:00(初日のみ12:00より受付)]

- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
- 団体料金等の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。